話題を解く 鴈治郎の引退騒動から 歌舞伎の舞台裏を覗く

関西歌舞伎はぶっつぶれるのではないかと、一時は本当にそこまで心配された中村鴈治郎の引退声明は、大谷松竹会長の密使高橋常務が京都に出かけ、鴈治郎と膝詰め合わせて「まあ、まあ」となだめ、どうやらその翻意に成功し、成駒屋が舞台を捨てる話だけはホゴにさせたという。この騒動は歌舞伎社会ばかりでなく、大きくいえば日本の演劇界全体に大きなショックを与えた、鴈治郎がここまで追いつめられた原因は、一口にいえば歌舞伎社会の封建性である、華やかな舞台で人気のウズのなかにいる役者という商売も、その裏には醜い対立と生きるための闘争があり、踊らされている人間の悲哀のあることが、この問題をめぐって世間の目の前へさらされ、この一石によって近く歌舞伎界に大きな波紋のひろがることが予想されるに至った、歌舞伎王国を誇る松竹に対する東宝の攻勢盛んな折から複雑な含みを持つ鴈治郎問題の本体にメスを当ててみよう(N)

渦中の人 中村鴈治郎

中村扇雀

一徹な"役者子供" 成駒屋の性格 対松竹 年重なる鬱憤居士

◇鴈治郎はなぜ"引退"を声明しなければならなくなったか? これを解く鍵の一つとして鴈治郎の性格から解剖してみよう、戦後の話だが、ある旅興行先で会社側の扱いが気に入らないと憤慨した彼が「なにいうてんのや、わいは国宝やないか」といったということが伝えられている、それ以来彼のアダ名は"国宝"になってしまったから愉快だ、また彼が扇雀を名乗っていた時分、ある客が「お前は、父さん(先代鴈治郎)が死んだらどうすんのや?」と訊いたところ澄ました顔付きで「鴈治郎になります」と答えたので、客は上方随一の人気を持つ親父の名前になりさえすればそれで出世したと思うんだろうかとガッカリしたという話もある、それほど"役者子供"的な気持をもっている彼が松竹に対して"引退"を表明し、借金を突っ返したのだから、こんどは鴈治郎も相当つよい肚を決めてやった仕事に違いない、おめおめと松竹に頭を下げて引っこむはずはない、と彼をよく知る立役者の一人は語っていた

◇彼の父親、先代鴈治郎は「芸道一代男」とうたわれ「河庄」の治兵衛「封印切り」の忠兵衛などの近松物や「忠臣蔵」の大星由良助などに名演技をみせ、上方人に熱狂的な人気を博し七十五歳で昭和十年二月没した、これが、いまの鴈治郎に輪をかけた"役者子供"で金のことなども一切松竹の故白井松次郎氏任せだった、こんどの引退声明の一つの動機となった京都市中京区河原町通り蛸薬師入ルの家も、実は白井氏の持ち家であったのだが、子供の時分から住んでいた鴈治郎はこの家を松竹から貰ったものと思いこんでいた、ところが昨年十二月、息子の扇雀が東宝(宝塚映画)と専属契約を結んだとき松竹が嫌がらせの手段として"明け渡し"を要求した、鴈治郎にとっては全く寝耳に水だっただけに、これには余程ムカッ腹をたてたものらしい、また先代は上方ファンに絶対的な人気をもちながら松竹にご奉公したにも拘らず、その死後には相当な借金が残っていた、鴈治郎はこれに加えて、自分が扇雀から鴈雀に、さらに鴈治郎を襲名するに当って松竹に借金が重なり、金しばり状態にされていることを非常に苦にしていた、鴈雀を襲名したとき白浜海岸の沖へボートで漕ぎだし「松竹のバカヤロー」と怒鳴ったという話があり、また息子の扇雀に対して「早く立派になって、お祖父さんからの借金を返してくれよ」といい暮していたといわれる、その息子が映画で人気がでて金儲けをしてくれたため引っ越しもでき借金も返し、本人がいうように「サバサバした気持…」になったのだが、これに対して、ある劇評家は「鴈治郎が卅数年も舞台で働いて返せなかった金を、役者としては未完成な扇雀が二、三年映画にでただけの収入で返せたのは皮肉だ」と語っている

祖父の借金孫が返す 金運乏しい舞台人 自家用持つは奥役だけ

先代鴈治郎の「忠臣蔵」由良助の舞台姿

では、なぜ鴈治郎ほどの役者が借金にしばられなければならなかったか? 一般に歌舞伎役者の給金は若い映画スターの十分の一以下の収入にしかなっていない、これは従来歌舞伎が松竹の独占になっており、競争相手の会社もないため会社側では幾らでも安く使えるというわけで、役者は松竹を離れたら出演する劇場もないといった生活上の不安があるため我慢しているより手がない、大谷松竹会長は歌舞伎の最大功労者で役者に対しても人情があるといわれる半面、会社としては金の面で相当に役者を痛めつけているようである、少数の花形をのぞいては一流の芸の持主でも一ヵ月の給金が重役の二、三日の出張費と同じなどという例はザラだ、これに加えて出演契約も、現代離れした"手打ち"で一切が済んでおり、専属契約を結んでいるわけでないから休演の月は給金もない有様だ、そこで役者は家庭の慶弔や、襲名披露で金のいるときは会社から借りなければやっていけない、それも大谷会長に直接頼んだ場合はいいらしいが、そうでない場合は、貸してくれるときはいいが後がいけない その一例として、ある役者が親の葬式の前日、金を借りたところ翌日会社側が借用証書を持ってきたという話があるくらいだ

そのため新進劇評家の某氏は「松竹は役者を育て可愛がると同時に役者をいじめている、伸びたり縮んだり、まるで"ゴム会社"みたいだ」と批評しており、こういう考えかたは役者たちの殆んどが多かれ少かれ持っているようだが、吉右衛門劇団の某名題俳優は「鴈治郎さんが止めたいといった根本的な原因は従来からの"奥役"(給金や配役の決定権を握っている内部の役員)システムの害悪です、奥役のなかにはいい人もいますが、大部分はピンはねをやったり、ツケトドケの如何でいろいろ細工をしたりして家を建てたり自家用車を買ったりしています、そのために不明朗なことが起るのですが、そういう不満が一番の原因だったでしょうね」と語っている これについては、吉右衛門劇団の某奥役が、「私も、お蔭で家を建てさせてもらいました、こんどは一生けん命やりますから見捨てないで下さい」といったという噂もある

坂東鶴之助

噂、背後に『東宝』のひも ひと波乱?松竹独占に崩壊来るか

◇更に重要なことは鴈治郎の場合、引退声明の理由はもっと根本的で、彼の背後には、七月東宝劇場での公演を皮切りに歌舞伎攻勢を開始した小林一三東宝会長がいる、という見方が強く行われている。鴈治郎は廿九日、大谷松竹会長の個人的使者として西下した高橋歳雄常務の苦心の説得を受け、機会をみて松竹の舞台に復帰すると回答したが、いつ引っくり返るかは予測できぬようだ、また一説では小林東宝会長と大阪歌舞伎座の持主である千土地株式会社々長の松尾国三氏の間に提携の交渉が持たれているという噂もあり、松尾氏は関西俳優協会々長の市川寿海と仲が悪いため、寿海をシメだし鴈治郎と手を組んで動こうとしたともいわれている、だが、とにかくこれまで松竹の独占だったものが、東宝劇場の誕生を機に崩れはじめたことは劇界にとって喜ばしいことだという見方は全部の役者につよいようである ◇もちろん興行は商売であり、松竹とは別の意味で東宝のやり方にも、役者をいじめる要素が松竹より強い面があることも否定できない、東宝では七月に続いて秋に菊五郎劇団の出演を考慮している模様で、これには先代幸四郎の甥に当る秦豊吉氏が、親類に当る菊五郎劇団の尾上松緑、市川海老蔵と吉右衛門劇団の松本幸四郎の三兄弟と親しい関係で可能性が強いだが東宝の某氏と松竹の某幹部の話によると、小林富佐雄東宝副社長は秦氏と対立関係にあり、このため内部的な分裂を起しているので情勢はなかなかデリケートなようだ、また東宝は廿年前いちど手掛けて失敗した東宝劇団再建の夢を捨てきってはいないで、この場合は現在フリーの立場にいる中村歌右衛門、中村時蔵、沢村訥子、中村芝鶴などのほか一座制の猿之助劇団の全員、および坂東蓑助、中村富十郎などに触手が向けられる公算がつよい

◇また東京は一応、劇団制が整っているため表面上のゴタゴタは起きていないが、吉劇団内部でも中村歌右衛門の動きは微妙であり現在、歌右衛門と勘三郎に対し松本幸四郎は映画でも食えるという強みがあり、また義弟の大谷友右衛門もいるところから、いつ孤立状態になってもいいという強気を持っているようだ、また歌右衛門は本当は市川海老蔵と組みたいのだが、海老蔵は菊五郎劇団なので、勘三郎と組んでいるのだという見方もあり、こんなところにも東宝が狙いを定めていい隙がありそうだ、だが何れにしても永年歌舞伎を育ててきた松竹に対し、攻勢を開始するにはこの際東宝としても余程フンドシを締めて掛からねば駄目なことは判りきっているが、とにかく松竹の独占の牙城が崩れはじめた現在、歌舞伎界の将来には大きな興味があり、ここ数ヵ月間に一波乱も二波乱も起きるのではないかという見方が強くなった

上大谷竹次郎氏 下秦豊吉氏　上小林一三氏 下松尾国三氏

"横車"は双方 鶴之助問題、周囲の観測

◇鴈治郎は、昨年四月の坂東鶴之助脱退問題や先般の明治座出演拒否問題で「自分一人が悪者にされたのが心外だ」といっている―"扇鶴コンビ"で売りだした扇雀と鶴之助は、歌舞伎の進歩的な指導者として知られる武智鉄二氏と坂東蓑助から、市川雷蔵、嵐鯉昇(北上彌太郎)らと共に武智氏一流の基礎訓練を受け"武智歌舞伎"でスタートした親友同士だが、その後二人の人気がでるにしたがい中村富十郎が扇雀に自分の役所をとられてしまったように、鴈治郎も鶴之助にとって代わられるのが不安なため、鶴之助に対しいろいろ無理な態度にでたため、怒った鶴之助が松竹を脱退した、その後昨年四月、松竹が鶴之助を舞台に復帰させようとしたときも、横車を押して出演できぬようにした原因が自分一人にあるように宣伝されたことに対する不満が引退声明の最大原因だといっている

◇これについては関係者のいい分がマチマチで複雑なため、どちらが白か黒か決定はむずかしいが消息通数氏の言葉を総合すると、ぜんぶが鴈治郎だけの我儘でもないらしい、だが鴈治郎の横車は有名で富十郎が「矢車座」を作ったのも鴈治郎に対する怒りだといわれる、この"鶴之助拒否"問題で彼の対抗馬として現れたのが、人権ジュウリンを叫んで松竹を提訴した坂東蓑助だが、自分の育てた鶴之助に対し鴈治郎同様の気持をもっていると誤解されているのを晴らしたい気持と、鴈治郎に対する反感が重なり合って提訴まで行ったという見方をしている向きもあり、関西歌舞伎は仲があまりよくない

中村時蔵　中村歌右衛門　沢村訥子　市川寿海　中村富十郎　坂東蓑助

世界こぼれ話 …(アフリカ)…

一発で二頭のライオンを仕止めたというケニヤの警官ベンドル氏に表彰の噂がたちました。すなわち、巡回中、深さ約十五尺の狩猟堀に、二頭のライオンが落ちこんでいるのを発見、堀のふちまで進むと、彼は短銃のネライをつけたところ、それをみて一頭が飛び上ろうとした瞬間、ぶっ放した第一弾が頭部を貫き、さらに次の一頭の心臓に命中、二頭折重って倒れたというのです。「二発や三発くらってもビクともしないライオンが一発で二頭だって? フン、笑わしちゃいかんよ」「それを真にうけ表彰だなんて騒ぐ部長も部長だよ」「見た者が誰もいねェんだからな」日頃評判がよくなかったので、仲間たちの陰口はサンザンです。いいあっているところへ、また一人がやってきて「おいおい、ベンドルはまた表彰ものだぜ」「どうした、今度はゴジラでも射止めたか」「いや、細君がいま双児を生んだんだとさ、これはまちがいなく一発で二児だから、どうだ、我々で表彰してやろうじゃないか、ハッハハハ」

モダン歳々記 本能寺の変

天正十年六月二日、かねて主君織田信長に私怨をもっていた光秀は、[illegible] 乱入し、[illegible] 百の手兵 [illegible] 信長をして 四十九歳を [illegible]

愛読者優待

浮世絵鑑賞と温泉入浴 箱根強羅へ日帰り行楽 6月30日まで期間バス運行 [illegible] 内外タイムス社

あすの運勢 六月二日

[illegible]

浪人街道 (174)

木村荘十 作　野口昂明 画

▼あらすじ▲ 神田駿河台に邸を持つ旗本浅香啓之助は芝山内の怪奇な殺人事件に捲き込まれて旗本から追放されて浪人になった。啓之助を助けたのは深川芸者美代吉と講談師狂斎の二人であるところがそれ以来啓之助の身辺には怪しい暗殺團がつきまとうようになり、たびたび啓之助は窮地に陥いるが、これを救出するのが男装の美女、綾の率いる浪人組である▼ふとしたことから啓之助は或る大藩の城主の血筋を受けていることを知ったが、浪人の気軽さからとんと意に介さない。ところが敵はそうではない。啓之助を亡き者にして大藩乗取りを計画している。暗殺團の襲撃もその爲である。今は啓之助を慕う美代吉は自分の身を殺しても啓之助を救おうと、渡世人という男姿になって敵城白岡の城下へ入りこんだ。

男姿 (四)

ここは、美代吉が、男姿となって入り込んだ白岡の城下を見おろす城内である。

領主の奥方お藤の方……といっても、最初の正室は、死亡されたのか御離縁になったのか、城下の町人などはもとより、知る者もなく、軽率などにはその方は後添えなのであるが、若さと、美貌と聡明で、殿の寵愛と、領内の人望を、一身に集めていた。

しかし、とかく幸運には、邪魔がはいり勝なものらしい。

お藤の方も、領主が二年前から怪しい御病気に悩むようになってからは、一日として楽しい日はなかった。

重臣は、事の幕府に知れるのを恐れて、領主を、今でいう軟禁、奥方さえも、お側には近づけないのである。

一体、この白岡城というのは天慶年間、平将門が、相馬御所の絶喩によって、覇を関東に称えた頃……その出城として築城したと伝えられている古城で、相馬御所になぞらって、右近道、乱の森、物見曲輪、香湯愛宕など、将門城に似たところが多い。

城は、東南に突出た細長い台地の尖端で、三方は断崖、西北だけが台地に連なっている。

城は、ここを掘って、二重に絶ち切り、内外二郭をつくったものである。

内郭は東西約卅間、南北は五十間…外郭は東西廿八間半、南北は七十八間あまり、堀は幅六間という要害で、もし内郭に閉じ籠められたら、容易に外郭には出ることが出来ない。

お藤の方も、いわば、この内郭の館に軟禁されている形だった。

近頃は、殿の御病気の様子も分らず、老臣達のおとずれもなく、たまに訪ねてくるのは殿の御舎弟の修理殿ばかり。

お藤の方は、あの骸骨が美服をまとうたような、修理の猫なで声を聞くと、身震いするのだった。

館の夜も しんしんと 更け渡って、お次も、ひっそりと静まり返っている真夜中であった。

お藤の方は、寝所で眠られぬままに、過ぎ去った幸福な時分のことを、それからそれへと、思い出に耽っていると、衿もとをすうッとなでていく冷たい風にはっとした。

息を殺していると、確かに誰かが襖をあけている。

それも、音さえたてず、一分二分と、静かに静かに、しきいをすべらせているらしい。

お藤の方は、もう楽しい思い出どころではなかった。

髪の毛が逆立って、全身の毛穴がひらく思いである。

が、一城の主の奥方ともなれば軽率に声は立てられない。

何事もなかった時には、国中の笑いものと、そうした警戒の方が身を守るより先なのである。

襖を明ける気配は、まだ続いている。

お藤の方は、肌身はなさぬ懐剣の紐を、静かに、音をたてぬように解いて、柄を握りしめた。

1日(水) ラジオとテレビ

	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 子供のシンフォニー❷ラジオ入門子供の政治 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話 ❷今日の市況 15 [illegible] 富村正夫 30 アフリカ探検記	10 東西こぼれ話 小金治 15 ワールド・コンサート 45 ファミリー・ゲーム	00 劇「少年宮本武蔵」 20 劇「すずらん太郎」 35 バンド・タイム	00 劇「ポツポちゃん」 20 劇「なんばん太郎」 35 歌謡百貨店
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 国会解説 [illegible]	00 洋琴ソナタ第3番 [illegible] 30 [illegible]	00 録音ニュース 15 「美しき高原」[illegible] 30 劇「織田信長」中村錦之助 [illegible]	00 ニュース [illegible]	00 ラジオ夕刊(耳の新聞) [illegible]
8	[illegible]	05 きょうの国会から [illegible]	00 劇「娘の縁談」山形勲 [illegible]	[illegible]	[illegible]
9	00 ニュース解説 15 二台の洋琴のための協奏曲 [illegible]	[illegible]	00 劇「ホガラカさん」[illegible]	[illegible]	00 浪曲アワー [illegible]
10	15 新しい道 青山京子 山内雅人 荒木玉枝ほか 40 ラジオ喫煙室森繁久彌	00 ❶初級解析(1)佐藤忠 ❷上級英語 梶木隆一 45 気象通報	05 きょうのニュースから 15 劇「新選組」永田靖他 30 シャンソン「花祭」他	00 大学受験春期基礎講座 英文法 黒田巍 30 国語(現代文)長谷川泉	00 劇「南無三宝」本郷秀雄 15 ジーンクルーパ特集 35 シャンソン歌くらべ
11	10 仏のベストセラー 牧 20 皐月富士 富安風生	05 ドイツと日本のカメラ 20 冠状動脈不全の診断	10 電波記念日特集 録音構成「世界をむすぶ電波」	00 劇「十二夜」根本茂他 30 ジエミニアーニ協奏曲	00 スポーツ・カレンダー 15 たくましき伝道者たち

テレビ

★NHK★ ◆6・00 シルエット「家なき子」◆6・30 電波と近代生活 中島健蔵ほか◆7・10 こんにゃく問答◆7・30 劇「ネクタイ物語」永田光男ほか◆8・00 スクエアガーデン◆8・30 シヨウ「フランキー入院す」

★NTV★ ◆6・00 世界のニュース◆6・15 行楽案内「鮎の解禁」◆6・30 ゼスチュアクイズ◆7・30 俳優座劇場より「即興詩人」アンデルセン作 西島錦四郎 山田真二 劇団東童◆9・30 きょうの出来ごと

★KR★ ◆6・00 マリオネット「新編少年太閤記」◆6・20 短篇映画◆7・00 コメディ「財布奇談」稲垣昭三ほか◆7・30 関東大学ボクシング 明治対中央 専修対立教◆9・10 座談会「世界の電波・日本の電波」

"あすの番組"

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問 塚田公太	8・00 療養所の学習	8・20 ラジオ・スケッチ	8・25 劇「青春のある所」	8・10 お早ようブーちゃん
8・05 カペルのピアノ	8・30 六作曲家の時間	9・45 見たまゝ聞いたまゝ	9・15 ラジオ小説真珠夫人	8・45 お好み歌謡曲
8・30 奇術礼讃緒方知三郎	9・00 きょうの学校放送	10・10 名作アルバム「めし」	10・40 劇「君ひとすじに」	9・00 「サザエさん」
9・15 梅雨に備えて郡菊夫	10・15 劇「道端のちどり」	11・35 音楽のスーツケース	11・35 連続劇「東京の人」	10・15 今日の科学「石鹸」
10・05 けさの話題	11・15 日本の昔武士の勃興	12・15 子供の楽しみ桃太郎	12・00 話の種 牧野周一	10・45 私の家計簿梅林秀子
11・15 姥捨(1) 堀辰雄作	11・45 音階について 村田	1・30 録音「田植え時に」	1・15 落語「網棚」今之輔	11・00 連続劇「信子」

釣竿の名人 「東作」四代目 松本政治氏

天明三年の創業というから今からザッと百七十年前。初代松本三郎兵衛は紀州藩士で号を東作といった。材木屋の娘と恋に落ち、大小を捨てて現在地に落のび、泰地屋東作と名乗って釣竿屋を開業したという、ウインザー公ばりのエピソードがある。ここの自家製釣竿は極めて大衆向きなものもあれば一竿五万円というような名人芸の逸品もある。当主松本政治氏は75歳だが、その旺盛な生活態度はナマ白い若者ならかなわない。お弟子十五人にピリッ!とした指導をして"東作の釣具"の名を後世に残そうとしている。今や世界に名をとどろかした釣具の東作として日本一を謳っていい店だろう台東区南稲荷町一一三番地。今日迄震災、戦災と数多くの苦難を乗り越えてのれんを守り通して来た人だ。

あん蜜の発明者 「若松」森半次郎氏

銀座のお嬢さん方が好んで食べる"あん蜜"の元祖は五丁目「若松」だということを案外知らない別に自慢もしないからだが、明治26年創立して以来、銀座の甘党とは切っても切れぬ仲として発展して来た足跡をみれば、誰しも成る程とうなづかれよう。本店は江戸時代から上野にあって、しるこやとしては一番古い。その伝統に近代的な感覚を加えたものがあん蜜で当主森半次郎氏の発明になるものなのだ。あらゆる階層の人々に愛され、親しまれ、特に一流芸能人で「若松」ののれんをくぐらない人は一人もいないといわれる程有名な店だ。半次郎氏は多趣味多芸の才人で、町内最古参の人というから銀座の生字引的存在。高島屋八階のお好み食堂もここの経営だ

ケタをはずさぬ商法 株式会社「さつまや算盤店」社長 織原房吉氏

何だかんだの神田神保町鈴らん通りにそろばんの店を構えて数十年。薩摩武士の気魄を69歳の今日もなお失わぬ老骨が「さつまや算盤店」の社長織原房吉氏である。常客は勿論だが、一度きりの客ならなお大事にするという老の気性がそのまま店員にも現われているから、店の雰囲気、客あたりは誠にいい。これが又二代目である専務さんの近代的な感覚と併さって磐石ののれんを築いたといえるだろう。気骨ある人にしては珍らしい温情家で、慈善家としても有名。しかしさすがそろばん屋さんだけあって何事にも「ケタ」を外さず「分を知る」ところなど、この人が唯者ではない立派な証拠となり得るだろう。16歳で父に死別以来流浪の旅もし、日雇人夫ともなり苦闘の十年間から掴った経験が今日の大をなさしめたのだろう「今日の仕事に精魂を傾けよ」というのが老の一家訓。専門店として伸びるのも店の改造や螢光燈のせいではない。「親切、丁寧」が一番の資本だ、と言い切るあたりさすが戦前派の雄を感じさせる。

名糖アイスクリーム 夏の味覚のニューフェイス 日本橋小網町一ノ三 協同乳業KK

近代的食品で栄養と嗜好とを兼ね備えたものーそれはアイスクリームである。名糖アイスクリーム80ccカップ一ヶの栄養価は牛乳〇・八合、鶏卵一ヶ、牛肉二十匁に匹敵する。だが若し小メーカーで衛生設備悪く生産されたらどんなことになるだろう。ことに名糖の兄弟会社協同乳業が完備した工場で優秀技術陣を動員して味と風味に自信満々のアイスクリームを世に贈り、アイスクリーム界に一大革命をもたらそうという、その意気正に天を衝く概がある。製品の概要は次の通りー

○銀カップアイスクリーム(ヴァニラアイスクリームの本格)
○アイスクリームサンドウィッチ(吾国最初の製品、コーンウエハース応用)
○アイスクリームバー(デンマーク、スイス等にならい北欧アイスの特長を生かしたもの)
○エスキモーパイ(チョコレートアイスクリーム)

日本で唯一軒のとうふ料亭 笹の雪 九代目 奥村多吉氏

"もりかえの茶碗 もつゝる笹の雪"と古川柳に詠まれている程"笹の雪"の歴史は古い。元禄年間の創業というから二百六十年余の歴史をもつ。きぬごしとうふを一名"笹の雪"という程有名な店だが、これは同家初代の発明になる製法から来た言葉だ。料理は全て自家製のきぬごしを使い、創業以来一貫してとうふ料理の伝統を守って、日本で唯一軒の存在として貴重がられている。料理は全て七品一人前三百五十円という値段も安く、味の点ではその風味において絶対他の追随を許さぬものだが、中でも「あんかけとうふ」は同家に昔から伝わる専売もの。二百六十年の歴史をもつ料理として名高い。当主奥村氏は戦後の復興に言い得ぬ苦心を払ったとか、今日の隆盛も故なきに非ずだ。店は台東区上根岸六十七

とんてんかんの音ひびく 人形町三ノ四 矢崎秀雄氏

創業以来百六十四年の大のれん、大阪に発足し江戸に進出したのが百年前、今も昔も変らずとんてんかん音が騒音の東京の真中で響いているのも嬉しいことだ。この家の系図が古ければ又職人も父祖三代続いて勤めているという時代を超越した在り方には涙さえ溢れる思いがする。お客様の中にも「八十年前、祖母が買ったハサミですからやはりお宅で研いで下さい」といって持って来る人々がある。うぶけやーの屋号のいわれは、うぶげでもそれるという切味から出たとのこと。今も職人衆はうぶけやの刃物でなければ使わぬという人が多いという、刃物のオーソリティーである。

各界ピカ一訪問記 スリも出没・門前市をなす繁昌ぶり 株式会社カドヤ食品 社長 伊藤卯之助氏

大森駅前の繁華街に、京浜線随一といわれる程繁昌している食品店がある。重ね山に伊の字のマークも雄々しい「カドヤ食品」がそれだが、傷痍軍人の身をいとわず、戦後の焼野原に立ち上って営々十年。たゆまない努力が実を結んだ文字通り戦後派の雄だが、同じ戦後派でも骨のある点では戦前派の商人も顔負け。食品を扱うのだからいわば人々の生命を預かるのと同じだ。何よりも栄養、そして衛生、庶民の台所の為には値段の格安さと、食品店に必須な三条件を守りとおした信念の強さ、厳しさが今日の隆昌を生んだといっていいだろう。門前市をなすという言葉があるが、文字通り門前スリも群がる程の人だかり。店先に「スリご用心」と書いてあるのも恐らく東京ではこの店だけだろう。店主伊藤卯之助氏は40歳。油の乗り切った働き盛りだが、温厚誠実な人柄が買われて、土地でも非常に人気がいい。夫婦協力の店員に対する躾も厳格でしかも情あるものだから、店員の出来もよく、魚河岸のある六間屋からこの店の店員ならムコに欲しいと懇望されて目出たく縁成ったという話もある。開店頭初は乾物雑穀店だったが、今では、のり、かん詰、佃煮、鶏卵、輸入飲料、麺類、砂糖などいわゆる食料品は全て扱っている。店は大田区新井宿二丁目一五〇一番地。

夏ひらく河童と天狗

きょうプール開きとアユ解禁

○…きょうから六月、公園や郊外の緑も日ましに濃くなり、夏は急速調、一日は暦の上の更衣だがこの日都心の後楽園と神宮外苑でプール開きが行われた、後楽園プールは午前十一時からきょうの一日だけ無料開放なので〝高校生カッパ〟〝大学生カッパ〟など約二百名がおしかけ「ちょっと冷たいな ア」といいながらも元気でザブン水温は十八度、午後から長沢、胡麻鶴のエキジビションもあって賑やかなプール開きだった

○…神宮プールでも神主さんのノリト、おはらいがあって模範水泳が行われ、待ちかねたカッパ連がふるえながらの水しぶきをあげていた

○…またこの日は待望のアユ解禁、多摩、相模、酒匂川をはじめアユ漁地は前日から解禁を待つ釣テングでおにぎわい、小田急は午前零時廿分と同一時半、二本の臨時アユ電車を走らせて手ぐすねひく釣師たちをどっと漁場に送り込んだ、今年は各地とも例年になく稚アユの発育がよく、五寸から六寸、天然、放流ともそ上がよくて豊漁が予想される

○…静岡県下では大井、天竜など各河川に計二百卅万尾を放流しているが、天然そ上が目立っている、群馬県下ではさる廿四日の試験的の結果、昨年の二、三寸に比べ五、六寸、そ上も五、六倍といわれ近年にない豊漁が期待される埼玉県下の利根川、荒川も五寸から六寸、大きいのは七寸に達する魚形も非常に濃い

（上）後楽園のプール開きと（下）アユ解禁ににぎわう相模川＝今朝撮す

〝真杉さん再起して下さい〟

献身する平林・宇野女史ら

在米原爆娘からも見舞状

女流作家連が救援の祈り

原爆乙女へ〝愛の手を〟と世界に訴えつゞけてきた女流作家真杉静枝さん（五二）が疲労から昨秋倒れてすでに五ヵ月、真杉さんはいま東大病院小石川分院内科廿一号室に重い病の身を横たえているが容態は悪化の一途を辿り憂慮されている、乙女のための祈りも空しく病床に身を伏している真杉さんに同情した同じ女流作家連が「真杉さん必ず再起して下さい」と起上り救援の手を差のべているが、去月アメリカに渡った小山岡道子さんなど原爆娘からも真杉先生元気になって下さい…との手紙が寄せられ、病あつい真杉さんを囲んで美しい花が咲いている

真杉さんが肋膜に倒れたのは昨年十一月末だが、それまで原爆乙女たちに愛の手をさしのべてきたのは余りにも有名な話だ、廿七年六月広島の娘達を東大病院に入院させ、さらに一昨年春から十ヵ月にわたりヨーロッパやアメリカに渡って原爆の悲惨さを訴え、救いの手を求めて歩いた、こうした努力が実って広島の原爆娘山岡道子さん（二四）らが渡米してケロイドの治療をいまうけつゝある

ところが逆に真杉さんの病気は昨年春帰国以来悪化していた、それにもかかわらず十一月末には、焼津市にゆきビキニ水爆の犠牲者久保山さんの遺族はじめ患者の家族を訪れ、また連日の視察や講演の無理がたたり終に倒れてしまった

私財を投打ち〝原爆乙女〟のために闘ってきただけに、真杉さんは病いに倒れても経済的に苦しく、焼津市立病院に入院したが、その費用にもことをかいた、この窮状をみてとった宇野千代さん、講談社の柳川麗子さん、それに平林たい子さんは真杉さんとは余り交際は深くなかったが、かつて自分が生死をさ迷う長患いをしたときに隣人愛のあたゝかさに包まれたことがあり、こういう時にこそ〝真杉さんをぜひ救わなくては〟と立ちあがり、援助する貯金の会が始まった、メンバーは円地文子、村岡花子、吉屋信子さんなど女流作家、石川達三氏夫人など資金集めに奔走している

この話をきいた東大病院村田小石川分院長や坂本内科医長も費用は差当って研究費から立替えてもよいからと真杉さんの入院を申出で柳川さんの努力によってこの三月廿五日同病院に移ることができた

東京に移ると平林さんは不自由な足を松葉杖にすがりながら三日にあげず訪問、ふとんの縫直しや、ゆかたの着替えまで届けて、宇野さんは真杉さんの好きな筍、ふき、お寿司などを女中に持たせてくれる親切さ、石川達三氏夫人は新宿の某デパートに一万円を預け「いつでも好きなものを買って下さい」と申出るなど真杉さんにあたたかい思いやりがつゞいている

一方アメリカに渡った原爆娘も真杉さんの病おもしときいて「元気になって下さい…」の手紙を寄せてきている、これらの愛情に対しげっそり痩せて身を病床に横たえた同女史は苦しい息の下から「平林さんはじめみなさんの御親切にはほんとに頭が下ります、たゞ感謝の念で一ぱいです」と涙を浮べて語った

病床の真杉静枝さん

西大使、陛下にあいさつ

近く英国へ赴任する特命全権大使西春彦氏は一日午前十時半皇居で天皇陛下にお会いし、ついで夫人といっしょに皇后さまに出発のあいさつをした

びっくり☆しゃっくり　楽しい仲間

妻を愛する会　❶

○…地震、雷、火事、オヤジというが、亭主族特に彼女なる後暗い秘密をもつお「山の神」いや「奥様」と在が何よりも一番オッカならしい、そこで山の神サマっておかないと いつの世たりが恐ろしいというわけサマを愛する会」ができたメンバーは江戸川乱歩、角雄、城昌幸、高木彬光、陣

たちまち馬脚

奥さん方を目の前において

姐さん連の甘い鼻声

山田風太郎、将棋の高柳敏夫八段などといった有名作家を中心にしたお方々である、もっともこのいいだしっぺは恐妻家？ オッと失礼、奥様孝行で知られている江戸川乱歩氏であり、月一度ぐらい歌舞伎をみたり、また夫婦和し旅行に出かけてもいゝじゃあないか―というのがその趣旨で、この日はおえらい先生方も、亭主関白ぶ

に常連筆頭メンバーである江戸川乱歩氏の夫人竜子さんが熱海へ旅行中で、当の御大乱歩氏は…

幼少女を暴行

十数件

強盗の余罪も

自転車ドロの強か者

巣鴨署では一日朝東京生れ住所不定無職栗林秀松（二〇）を窃盗の疑いで強制ワイセツ、窃盗の疑いで逮捕した、調べでは栗林は昨年…

新宿キャバレー　さくらめんと

酔って殴殺す

少年、運転手に暴行

【川崎発】川崎署は一日午前同市境町四四少年A（一八）を傷害致死の疑いで検挙した、調べでは同少年は酒に酔って廿六日午前零時ごろ南町特飲街で同市南加瀬二八一五市営住宅内自動車運転手鹿島栄敏さん（三六）をなぐり倒し、このため鹿島さんは頭蓋骨々折で卅一日死亡したもの

迷路ガイド

解答　志村　巽

悪い病気ではない

先端のイボに悩む未婚青年へ

問　廿五歳の会社員、昨年暮からある女性と知り合い今年中には結婚しようと思っているのですが、私の体に悩みごとがあり、是非これを解決したくご相談致した次第です

実はペニスの尖端部に小豆ぐらいのいぼができており、そのため排尿の際は二筋に分れ困ってしまいます、痛みはなく以前に一時オナニーを行っていたことはありましたが、これが原因とは思われません、自衛隊の試験を受けたときもこの欠点を指摘され憧れの軍服も着られませんでした、異性と接したと きは極端な 早漏で困ります、以上のような症状です、よろしくお教え下さい

（江東区大島町・S生）

答　亀頭のいぼについてのご質問ですが、これにはいろいろな種類のものがありますから専門医の診断を受けなければ、それが何であるかはっきりしたお答えができないのは残念です、コイツスにも邪魔になるようでしたならば、なるべく早く切り去った方がよろしい、ご自分で気にかゝるなら害はなくとも切り取ることをおすゝめします

ところで自衛隊の入隊試験でこれがために落されたということですが、それが確かとすれば当を得た検査ではなかったと申上げるよりほかなく、いまわしい病気ではないでしょう、早漏ということですがお手紙によると相手に娼婦ばかり選んでいるそうですから、結婚し特定の女性（妻）を相手になされば自然解消することです

〝ムコ一人にヨメ二万人！〟

中村賀津雄の相手役押すなおすな

○…ムコどん一人にヨメのなり手が二万人、いや皇太子の話ではない、現在人気スターのトップを切っている中村錦之助の実弟賀津雄がいよいよ映画にデビュー、第一回主演映画「振袖剣法」を撮るというので、その相手役のお嬢さんを全国から募集したところ、応募者総数二万三千人というモノスゴさ

○…その中から七十名が選ばれて、きょう午前十時から第一生命ホールで最終審査が行われた、審査員は当の賀津雄始め、両親の中村時蔵夫妻、雪代敬子、若杉英二、作家の山岡荘八、小山勝清の両氏それに松竹大船高村撮影所長、野口、白井両重役、ほかに雑誌関係の編集長といったクラスの面々

○…先ず七十人のお嬢さん方、五名ずつ、華やかに微笑しながら前向き、横向き歩いてみせるなど、ファッション・ショウよろしく妍をきそって顔見せしたが、それが一通り済むと、その中からさらに十名が厳選、簡単な芝居、セリフなどのテストがあって三名が残り、午後には撮影所でカメラテストが行われて、二万人の中から栄えの相手役がたった一人選ばれる

○…会場には早朝から「写真審査で落ちたのですけど、賀津雄さんにお会いしたいので」などという連中まで続々とつめかけ、ゴッタがえしの繁昌ぶり、整理に大わらわの松竹宣伝課員氏も「いや、どうも、デビュー前からこんなスゴイ人気の俳優なんてのは初めてですなあ」と嬉しい悲鳴をあげていた【写真は審査風景】

緒方邸に賊

職質でスピード逮捕

一日午前零時廿分ごろ渋谷区松涛町五三自由党総裁公邸緒方竹虎氏（六七）宅湯殿の窓をこじあけて賊が侵入したが、物音に女中の海野璋子さん（三五）が発見、一一〇番で渋谷署に届出たため賊は何もとらずに逃走した、同署で手配中同二時ごろ同区宮下町四〇先路上で容疑者住所不定無職前科一犯植木文二（三〇）を窃盗未遂容疑で検挙した、植木はさる五月廿八日長野刑務所を出所したばかりで「緒方さんの家とは知らなかった」といっており背後関係はないものとみられる

検挙人員四千八百五十人

暴力団狩りの成果

警視庁では昨年九月同庁に「暴力団等不法行為に対する取締対策本部」を設置、江口警視総監自ら本部長になり、同月卅日早暁全都一斉に行われた大がかりな暴力団狩を皮切りに暴力団の一掃を継続していたが、一日朝昨年九月末から今年五月末日までの第一期の取締結果を発表した、これによると同期間中検挙した者は四千八百五十人で、その内訳は

恐喝一九九二、傷害一五三〇、暴行脅迫六八二、不法監禁一〇六、銃砲刀剣等不法所持一四〇住居侵入一四、横領二三、詐欺七三、その他二〇九となっている

総武に男女の飛込み

一日午前一時廿五分ごろ市川市新田町一の一一三四先踏切で総武線津田沼行終電車＝運転士鈴木孝治（三九）＝に男女二人が飛びこみ即死した、市川署の調べでは男は市川市中山二の三三〇自動車運転手伊佐満栄（三五）女は目黒区清水町四八一無職三浦茂登子（三八）で原因その他は市川署で調査中

長野深氏（六分合同新聞社取締役社主、社長長野正氏厳父）卅一日午後十時狭心症のため自宅で死去、七十三歳（六分発）

花月園競輪初日成績　◇第一（千六白）❶大橋嚐2分13秒7❷B河野哲3車½❸清水稔（単）110円（複）100円110円110円（連）❸―❹230円

○…「歯の女王」コンクールがきょう一日午前十時から都歯科医師会と都の共催で開かれた

○…これは「虫歯予防週間」（六月四日から）にさきがけて行った啓蒙行事で、都内各地区代表四十名のお嬢さんが勢揃い

○…審査員には専門家のほか水谷八重子、伊藤道郎、山野千枝子氏らのお歴々も参加、一般教養、スタイルまで審査するとあってなかなか賑かなコンクールだった【写真は「歯の女王」審査風景】

【千葉】

千葉競輪は二日から始まる

◇前節＝優勝候補は地元のホープ石原健スピードボーイ相沢昭、佐藤喜、川端雅などこれに気賀沢侖、森本金の強猛が加わる、一般では鈴木明、鈴木保が恐い、B級では市瀬藤、国分伴がよい

◇後節＝太田原慶、丸山廣が元気なので有望、石川良は最近調子上…

◇特別レースは第四日十レースに二級JAP車による三マイル戦と同十一レースに四輪車の五マイルレースがある、次に各級別の主力車、選手を挙げれば▽一級車＝◎ロールキング（田村）○ジョーホク（河村）×ヤングボーイ（秀平）△ヘルスメグロ（安藤圭）▽二級車＝◎ナガアキ（河北）○ミクニアマル、内山）×第一スギハラ（杉原）△マンヨー（臼田）▽三級車＝◎オクムサシ（田中孝）○タカオカンダ（桑原孝）×スズホープ（田中健）

ミス・銀座級の美人がズラリ

八丁堀「らもん」

中央区八丁堀すずらん通りの「らもん」という名のコーヒー店。界隈ピカ一という感か、ミス・東京級の女性がズラリと揃っていて気の弱い男性なら姿を見ただけでぽーッとなる。場所にしては見上げた腕だ、と秘そかにマスターに感服した。入口がくすんだ感じなのはちょっと損だが、中に入るとまた立派。入口近いビジネス向きの大きな部屋には24吋のテレビが据えてあって、相撲やボクシングの場合など桟敷やリングサイドの価値は充分。大変な人だかりだが、静かな雰囲気を欲しい人は通り抜けて奥に行くといい。一段と低まったランプのある部屋が二人づれを待っている。その上にもシャレた中二階があって、グリーンを基調とした明るい近代調を出しかれる三つの部屋を用意した趣向もいい。コーヒーはうまいし、難点のない喫茶店だ。

手頃な値段で洋行気分

アベックの新橋「トリスバー」

二人で銀座を散歩して、彼女が何となく別れ難い風情をしめしたら？　新橋駅西口まで足を伸ばし、新開店の「トリスバー」に寄ることをお奨めする。初夏の宵、歯にしみるようなコハクの酒はあなた、彼女にはこの店独得のオールドファッションかマテニーでも振舞えばいい。界隈随一を誇っていい洋酒の種類もトリスバーには珍らしい豊富さ。店内の雰囲気も甘くロマンチックで、アベックにはうってつけといっていいだろう。東京の夜の喜びと哀愁が二人の心に泌みればいつか外国の一夜のようにエキゾチックな気分にひたらせてくれる。銀座好みの青年と令嬢に心よい店でしかもお値段は大衆的。トリスストレート40円、ハイボール50円、ジンフィズ百円、マンハッタン百円。フトコロ具合は全然心配いらないのも素晴らしい。と栄養があるから、二丁目へシケ込もうという手合いなど、毎日食べては精気をつけているが、若いらく組が粋筋のキレイ所を連れて座敷でチビリとやっている図もある。あながちそんな目的でなくても、体力をつけることは絶対。白井も前の晩これを食べておけば決して負けなかったのではなかろうか、と思う程だ。ビール百四十円玉子丼50円。みんなで楽しめる店である。

夏ヤセの予防は？

新宿『雛忠』の雛丸焼

初夏薫風かおるといえばロマンチックだが、生理的にはこの季節に〝夏ヤセ〟が始まるというのが医家の定説だ。やがて来る猛暑に耐えるには今が一番うまく栄養があるのが雛丸焼。さてどこでこれを食べたらいいか、という段になると、何…

ケンカ議員もハイヤー飛す

上野「たいまる」

上野という土地はむづかしい。東北線のお上りさんから、上野公園散歩のアベック。場所的にいっても下町と山ノ手、都会と田舎のカクテルだ。こんな土地で万人に愛される味を創るとなると、それこそ十年、廿年の年期が必要だろうが、文字通り三十年研究とサービスを続けて誰にでも愛されているとんかつの店がある。ご存知の向きも多かろうが、上野公園電停前にのれんと味を誇る「たいまる」がそれだ。宇都宮、浦和あたりの人々でも、上野に出て食事をするとなればここを選ぶし、天下の代議士諸公や有名スポーツマンが、議会での喧嘩の合間、後楽園での…

続 情炎の千代田城 (134)

岩崎栄　寺本忠雄画

◆あらすじ◆ 六代将軍家宣の代になっても千代田城内の確執は除かれたわけでない。一方がざん訴すればまた一方も告げ口して自派を有利にしようとする。そしてこれが御多い将軍の側女を利用しているから大変である◇勘定奉行荻原重秀の米相場のインチキを見抜いた新井白石派は側女の口を通じて家宣に言上した。これを知った重秀は寵臣の側用人間部詮房らと相はかって将軍家の一子鍋松君の病気が急変した。顔色を失った将軍ほか一同は典医玄朴を叱責したが、玄朴では病気の見当がつかぬ。そこで絵島の発案で町医師交竹院を呼ぶことになった。この交竹院の見立は食中毒で、御典医の驚くのを尻目に悠然と鍋松の病室に入った。

交竹院（七）

鍋松の細い腕を放なすと今度は傍の女中にいいつけて、寝まきの紐を解かせた。

自分で寝まきの前を掻きひろげて、胸も腹もむき出しにした。

「あれ」

思わず声をたてる女中もいたが交竹院は無雑作に、胸のところへピタリと、片耳を圧しつけた。大奥の常識からすれば、まことに傍若無人、言語道断の所業なのだ。

腹部にも耳をあて、そこを両手で撫でたり圧したり、抱き起して背なかにも耳をあて、最後に瞼をグイと引っくり返し、じっと瞳孔を見つめながら、呼吸を数えていたが、

常例では医者同士の合議制となっているのだ。

家宣がちょっと首を傾しげた。しかるに、

「必定お全癒をお受け合いとあれば、不肖絵島、責任を持ちましてお一任つかまつりましょう」

決然として独断した。

「ふむ」

交竹院も強く頷き、

「申すまでもござらぬ。お癒し申上げる」

「わかりました。存分にお願い申します」

顔の色を変えた玄朴は、同僚たちと眼つきを交わし合って、控えの間に退出したが、交竹院は歯牙にもかけぬものごしで、

「さようなれば、すぐさま調薬仕りますが、それまでに」

お付きの女中をかえりみて、

「このお部屋に大火鉢を入れてな、それに大薬罐で湯気をたてること。よろしいか！ それとも一つ、温石をお腹に、湯タンポをおみ足のところにお入れなさるよう」

いいのこして隣の部屋に、も一人の女中をつれて出た。

薬箱を開けると、さまざまな盤薬のもついろいろな匂いの混合がふくいくと部屋にひろがって、たのもしいような、また有難いような気持に、若い女中は胸の中を明るくさせられている。

自信のある確実な手際で、いささかの迷いも、ためらいもなく調合した薬を、

「さァこれでござる」

とその女中に渡し、

「これを御服用なされると、しばらくしておびただしい発汗が見える。御発汗に相成ったらばすぐさま、てまえをお呼び下され」

「うむ」

また頷いて、絵島に向かい、

「やはり、お食あたりとおカゼにござる」

十二分の確信を持ったふうにいい切って、

「但し、かくべつお毒のもの、或は悪い食事を差し上げたわけではござらぬ。カゼから胃腸のお弱り、そこに持って来てのお食あたりなのでござる」

「それで？」

「御心配は御無用。医は学問でござる。拙者お引受申したからは、みごとに、責任をもってお治癒仕るでござる」

ほっとしたどよめきが、この部屋の不穏な空気を解きほごした。左京の方が眼頭を拭きながら、家宣の視線を求めた。家宣の眼にも安堵の色が微笑に浮かんでいる。

「しかし、絵島殿！」

交竹院の、詰め寄せるようない方だった。

「はい」

「拙者、受け合って御全快おさせ申すが、おまかせ下さるか」

「と、申すと……」

「なかなかの御重態ゆえ、船頭多くしては舟を山に乗し上げてしまいます。拙者の独存にお任かせ下さるかと申すのでござる」

玄朴以下のお医者が、ハッと全身を緊張させた。重大問題なのだ。

日劇ステージショー　日劇六月四日から

のステージ・ショウは堀内栄一作・演出のミュージカル・スケッチ「踊るキャバレー」脚色寺島信夫、振付佐伯譲、装置眞木小太郎音楽村山芳男のスタッフで、デイック・ミネ、柳沢真一、高英男、生田恵子、中田康子、白山雅一、国友昭二、清水秀男、R・テンプル南里雄一郎とホット・シックス、日劇ダンシングチームなどが出演する

銀幕の流星はなげく
華やかな一年で消えた御園裕子

三年前は東映の新進スターとして、年間十七本出演し、その年の最高記録を作った御園裕子は、最近松竹大船に移っていたが一向芽が出ず、せいぜいチョイ役に顔をみせるだけで、あとは水着撮影とか劇場の挨拶とかに日を送っていた、まさに数年前の颯爽たるデビューぶりに比べると雲泥の相違で、このまま彼女は"アトラク女優""アクセサリー女優"として型通り消えて行く"星くず"の運命をたどろうとしている、で、何が彼女をそうさせたか？ といえばたった一つ、それは彼女をめぐる無責任なスキャンダルの噂が余りにも定説化したからだった、いま当人は、とにかく再契約したばかりの松竹からも身をひき、同情した菊田一夫氏から新たな芸名を付けて貰うことになって、ラジオなどに出ながら再出発の機会を待っている

ひろまった醜聞(スキャンダル)？
噂の相手は星野和平氏
遂に出演も閉め出さる

[illegible]

上から御園裕子、星野和平氏、菊田一夫氏

"定説化した"煙の出所
菊田氏が同情の力づけ

[illegible]

い、新しい名前で近いうちに考えてはみるから、過去はスッパリ忘れて[illegible]

"ひどいデマだ" 千草かほるもふんがい

[illegible]れて出直すんだね」と力づけてくれたという

では何故彼女が星野氏の二号だというウワサが定説化したか？ を探ってみると、先ず第一に彼女の東映でのデビューぶりが余りに鮮かであったところから、周囲に嫉妬する人々がいたこと、その後に星野氏が登場したが、同氏の手腕に対してもとかくの反感を持たれていたこと、その二つが結び付き、さらに東映退社後彼女が生活補助を星野氏にうけていたことを、二号的な仕送りと見たことなどが主たる原因とみられる、そのほかにも廿七年十一月ごろ、鶴田、岸主演の「ハワイの夜」に出演し、ハワイ・ロケに参加したが、製作費の関係などで主演者たちより一足先に引上げたが、そのとき星野氏も一緒だったこと、あるいは彼女の父親が胃潰瘍で開腹手術をしたことなどを何気なく詳しく話したことが、いつの間にか彼女の堕胎物語などに化けてしまったこと、星野氏と用談するにも、映画人の行くところで会った方が公明正大だろうと、日本橋の某天ぷら屋に行きつけていたが、それも逆用し、仲むつまじい深い間柄と思われる理由の一つになったことなど、すべてがウワサを決定する証拠として積み上げられて行ったわけだった、この間星野氏の方でもハワイ・ロケの間に作られたデマのために、帰国早々夫人との間に家庭争議をひき起すような事情も招いたりして、この噂は知らぬものはいないほど拡がって一人の女優をガンジ絡めにしてしまったわけだった

こうしたことについてSKDの幹部で、彼女と同期の千草かほるは「テコ（御園の愛称）とはもう八、九年ものお付き合いですから、彼女の人柄はよく判ってます、そんな形で男の方の世話を受けるような人じゃないわ、ひどいデマですね、ほんとに早くそんなウワサが消えて立直れるといゝと思います」といゝ、また松竹の井川邦子は「星野さんて人は大体世話好きなんですよ、それはいいんだけどちょっと困るのは、あんまり気軽に人にしゃべっちゃうことね、率直なのはいいとしても"あの何とかさんはいゝ子だよ、ぼくは好きだね"なんていえば、口のうるさい映画界ではすぐ変に取ってふれ回るってことになるんでしょう、御園さんもそんなことからじゃないですか」と星野氏の性格の一つの面をついている【写真上千草かほる下井川邦子】

当の御園は「星野さんにはいろいろと厄介になりましたしご恩は感じていますが、ありもしないとやかくの噂で随分迷惑なさったでしょう、私もずいぶんこのウワサには泣かされましたけど、かえりみてやましいことは何もありませんこれから白紙に戻って、全く新人のつもりで再出発したいと思っています」と語っている

泣かされる話

三浦洸一とマダム
点字のレターに鈴木三重子しんみり

三浦洸一といえば「落葉しぐれ」「落葉しぐれ」といえば三浦洸一―三浦半島は油壷という漁村から出てきたこの男は、無口で堅くて冗談一つ飛ばすでもなく、実につきあい難いという、歌手にしては珍らしい男である、もちろん女性との話などチリッパ一つ落ちていない、彼が利口だからか、恋の度胸を持ち合わせていないのかその点何ともいえないのだが、それでいて女性のファンが多いのである、しかも殆どが年増女だ、さて話は九州のことー ついニ週間ばかり前、三浦と野沢一馬羽山和男の一行が小倉を訪れた、お定りにへ旅の落葉が…と三浦が歌ったら、黄色い歓声がワーッとあがってしばし鳴りやまなかったその中で、ハンカチを目にあてしきりとムセび泣く一人の女がいた、やがて仕事も終って宿へ引上げようという時になって、件の女が楽屋口に現われ「是非私の店へいらしてくつろいで下さいまし」と誘ったものである

三浦洸一

誘われるまゝに三人は彼女のあとをついて行くとそこは狭いながらも小粋な造りの酒場であった、彼女はそこのマダムであったわけ、やがて飲む程に酔う程に話が落ちるところへ落ちようとした時、野沢と羽山がヒョイと横をみると、マダムは三浦の横にピタリと寄り添い、しかもよくききとれぬが、何か涙の滲み出るようなヒソヒソ話、三浦には珍らしいことだと酔いもさめて、成行きやいかにと目玉を光らせていると、期待に反して「もう引揚げようや」と彼は立上った、おさまらぬのは野沢と羽山、「一体あれは何だ何だ」と三浦を責めたが、たゞ彼はニヤッとするだけ、それが二人には余ほど口惜しかったとみえて目下盛んにこの一件をフレ回っている

話 変ってこちらはテイチクの豪徳寺プロダクションといわれる作詞家大高ひさをの自宅、こゝには日曜となると多勢歌手が集って練習やらお喋りやらで雀の学校のようになる、そこへ巡業に出ていた鈴木三重子が東京駅についたその足でやって来るや否や「私関西へ行って泣いちゃったわ」といった、一同「それッ」と立上り何かつやッぽい話もがなと聞いてみるとさにあらず、彼女が目をうるませて語る話は…三重子がいま売出している歌は「浮草小唄」という女のはかない恋心をうたったもの、これがラジオの人気投票では二週間半一位をぶっ通している、勿論こんどの巡業で彼女はこれを歌いまくった訳だが、あすは東京へ帰るという段になってドサッと点字の手紙が舞いこんだ、このめずらしいファンレターに早速マネージャーを盲唖学校へ走らせて読んで貰ったところ、手紙のどれもこれもが「私たちは浮草同様の人生です、たゞ真っ暗な世界だけで、美しい恋などできません、そんなはかない人生にあなたの浮草小唄は食い込んでくるように悲しくひゞいて…」というものばかり、三重子は旅館で目を泣きはらしたというが、これには雀の学校の悪童たちも思わずシンミリの一幕だったとか

鈴木三重子

その日そのとき（25）
中村芝鶴

とき きのうの雨がまるで嘘みたいにカラッと晴れた一日の黄昏、澄みきった初夏の空から紫色のドンチョウが静かに下りて、しっとりとした雰囲気が街の雑踏を包んでいる

ところ 西銀座、資生堂の横を入って右へ曲った辺にある小じんまりとした老舗の小料理屋、隣りの入口を入るとスタンド・バーになっているという銀座裏らしい和洋折衷スタイルの店なので、もろもろの芸術家連やジャーナリストが"巣"にしている、歌舞伎の舞台では、粋で小股の切れあがった理性味のある女性を演じる芝鶴が、渋く洗練された背広に蝶ネクタイをきちっと結び、くずれぬ姿勢でオチョコをかたむけている

（芝）「居の女形という仕事は自分の気持をあまり発散させない仕事なので、お酒がつよいんじゃないかとよくいわれますね、それに加えて相当の重労働ですからね、立兵庫（オイランのかつらの名）なんかもむかしのは二貫目くらいありました、衣裳だってなかなか重たいから肩も張りますけど、お酒は確かにそういった身体のシコリをほぐす按摩の役をしてくれます、でも私はあまりやらない方で日本酒なら一合、ビールは一本、ウィスキーだったら二、三杯が適量です、むかしは腹の立った時や嬉しかった時によく飲んだものですが、このごろは疲れた時や眠れない時にちょいとやります、ところ選ばず、時きらわずにノンビリ飲むのがいいですね」と語る

プロフェッサー型
疲れなおしの一杯に醍醐味

姿は作家か大学教授の"感じこれが番町皿屋敷のお菊や玄冶店のお富、親子燈籠のおりようなどを舞台で演じる人にはみえないそれもそのはず、昨年ある出版社から出した「芝鶴随筆集」はエッセイスト賞の候補にあがったし、現在もNHK随筆番組レギュラーだ

（私） は洋食党みたいに思われてるんですけど日本食も好きですよ、ウナギは毎日でもいいし、刺身なら三度三度でも結構ですね、ほかに好きなのはナメコ、コノワタ、カラスミ、モズクなんか…嫌いなものはギンナンとワラビだから不思議でしょう、亡くなった梅幸のおじさんはオシンコが苦手だったんですよ、これも亡くなった幸四郎のおじさんがしょっ中一緒でしたが、いつも傍にいてオシンコを食べさせないように思いやりをみせていました、それがいつだったか私も一緒の時に茶碗蒸しがでましてね、ギンナンが入ってるから嫌だなと思っていたら幸四郎のおじさんが、それをスーッと横へ片付けてくれたじゃありませんか、そういった細かいところでも、むかしの人はずいぶん思いやりがありましたね」とやっているうちに頬がさくら色に染まり楽しそうな表情―

「きょうは、これから洋画を一本見て帰りますよ」いいながら立上って、また洗練された紳士の足どりで銀座の夕闇のなかへ溶けこんでいった

本牧亭上席（昼）一鶴、南隣、貞鳳、南遊、馬琴、南鶴（夜）女義太夫会（四日まで）義太夫三人会（五日）新内志賀太夫会（六日）邑井操会（七日）鶴賀花妻会（八日）南遊講談会（九日）岡本文彌会（十日）

日下武史（新劇）

劇団「四季」の二枚目である、アダ名を"御物"（ギョブツ）という、正倉院御物などの御物であるが、顔の外郭と顔色が木彫の色に似ているところから来たものらしい、慶大仏文科当時に故加藤道夫、現「四季」演出部の浅利慶太などと第一次の「四季」を結成したが、これは半年でツブれた、ずっと先輩だが芥川比呂志とも親交があり、飲むと芥川は必ず「なぜおれんとこ（文学座）へ来ねえんだ」と彼にからむそうだ、つまり彼の才能を芥川が十分認めているからなのだが、彼の方は貸本屋の外交をやったり、ハンダ付けの労働で塩素ガスにノドをやられたりなどの苦労をしながら「四季」にがんばってアヌイ、ジロドーの戯曲に取組んでいる、一人息子でこんな風だから家からは勘当同様、目下ピイピイしながらの下宿暮しだ、喜劇、悲劇ともに使える有能な新人、現住所＝渋谷区丹後町三、飯島方

新人山脈

はと笛

▽…このところ千番倶楽部も閉鎖されたので寄席が足りなくなり、出演者が楽屋にワンサと屯ろしている、そこで落語協会では「若い者を遊ばしてはロクなことをしない」と話と鳴物の稽古に熱を入れている

▽…ところでこれを聞いた芸術協会の方では小文治御大が音頭をとって、同協会の野球チーム"ホワイラーズ"の試合を九月まで一切中止して稽古に入った、そのせいか迷ピッチャーの米丸、長身をもてあまし「家でナイターを…」と最近結婚したばかりのスイート・ホームへまっしぐら【写真は米丸】

都々逸
今月の選者は小沢扇太郎氏（写真）が担当いたします

五ツ木子守の唄声悲し　初めておぼえた戀の味　鎌倉・音丸

二つ並んだ嬉しい顔に　目高が尾を曳く水鏡　羽生・野口汀

貴郎の便りをまた讀み返す　雨ににじんだペンの跡　文京・木村いつ秋

おみくじに、何と出たのかそうっと帯に　挾んで出て行く五月晴れ　木場・猿谷三十越

戀を澀って大きな瞳を　見せて男の茶碗酒　戸塚・小野忠夫

やがて枯葉になるそれ迄を　今日の青葉に冴える色　選者

催し 創立六十周年を迎えた尺八都山流では二日午後四時から日比谷公会堂で六十周年記念「都山流尺八演奏会」を開く、主なる出演者は宮城道雄、廣崎春昇、久本玄智、今井百山、斎藤松声、山川園松、中島雅楽之都、加藤■子ほか

消息 ジェニー・アイーダ（ジエニー井上）はこんどジャズメン・クラブに参加した、なお同クラブには銀座（57）一七六三の電話増設

49番から66番とは？
「ラテンクォーター」の特別料理

アメリカ映画に必ず登場するナイト・クラブ。舞台のショーをときどき観ながら、こずら憎いほど手際よく女を口説くアチラの男性がカウンターでウィスキーをなめ、彼女にはカクテルを振舞えば、あとはテーブルに戻って食事となるのが定石。何やら英語でもなくフランス語でもない、というような怪しげな料理を注文したら注意すること「サムビッツ」とか「コバップ」とか言っているのに気がつくだろう。これがまた素敵にうまい料理で、しかも栄養があるナイト・クラブ専属みたいな逸品なのだ。あとで踊ったり愛をささやく必要から自然に生れたのかも知れない。こんな料理を食べて、クラブの雰囲気を心ゆくまで味わい、愛人を抱いて踊ってショーを観、ジャズやシャンソンを聞く。大人の遊びを経験してみたかったら赤坂見附の「ラテンクォーター」に行くべきである。何やらムズカシイ料理はメニューを開けてみるとすぐ解る。つまり49番から66番の料理がそれだ。一例を挙げてみると、サムビッツは53番、ストロガノフ風鍋入牛肉は56番、コバップは58番、フィンガービックは61番というわけである。

別室には「エ…」があって、銀座のファッション…い素敵なホステ…誘えばクラブの…行ったら、ここ…ナーとなってく…れしいではない…ラジオ、テレビ…ウ・ディナウ。…ス・アンド・フ…共に東都をゆす…ボウが終れば、…して渡日を待っ…界一流の芸能人…姉妹という黒人…というアメリカ…レイ・カールと…ンのコンビによ…日本では到底…い人々ばかりだ…ラテンクォータ…うことをお奨め…

☆☆☆余徳は姐さんの仇姿☆☆☆
新橋「松葉ずし」

すしはうっかり食べるとアテられる。季節的に種がいたみ易いからだ。その上二、三百円も取られたら眼も当てられない。しかし、すしの一番うまい季節は今だから何といっても食べたいのは人情だろう。こんな手合いは、新橋東京デパートの西口前をちょっと入った所にある「松葉ずし」へ行くに限る。種は魚河岸直結の新鮮なものだから絶対心配なく、しかも一人前60円という値段は東京中探してもここだけのケタ外れなものだ。古いのれんを誇る店だから、安いからといってまずいものを食わせるようなことはない。粋筋の姐さんがお座敷前や風呂帰りにちょっと寄る。そんな姿を楽しめるのも余徳というものだろう。

☆☆☆砂漠の中のオアシス☆☆☆
日本橋兜町「ボンド」

生き馬の眼も抜くという勝負師が集まる日本橋兜町界隈は、それだけに本当に体と神経を休める場所も必要、勝負師たちが一息ついて、次の勝負に立ち向う英気を養うのが、江戸橋の富士製鉄ビルの向い側、本邦酒類の横小路を入った所にある喫茶店「ボンド」だ。

☆☆☆上野一のレストラン☆☆☆
公園前「サンキョウ」

上野で一番…ンは公園前の…う。土地柄の…ウケているの…が、創業卅年…せた技術は…百円のインド…も、その味は…級は充分楽し…

三宅邦子によく…マダムがいて、…界隈雀の憧れの…文字通り砂漠の…在だが、名物は…ない。コーヒー…の細かい神経を…りミックスも…けでウエイトレ…い素敵な珈琲…